

神奈川県 公立高校の入試制度

【2026年度版】

選抜概要

神奈川県の公立高校入試（全日制）は、主に一般募集1回の機会を選抜されます。

	出願期間	志願変更	試験日	合格発表
一般募集	1/23(金)～29(木)	2/4(水)～6(金)	学力検査 2/17(火) (面接・特色17・18・19)	2/27(金)

県立と横須賀市立高校は学区がありません。横浜市立と川崎市立高校は市内を学区としますが、普通科（一般コース）・総合学科以外は全県から出願出来ます。
※学区がある高校も人数の制限はありますが、学区外からの志願も可能です。

出願は1校1学科（コース）に限りませんが、次の場合は第2希望を認めます。

- ・農業・工業・商業・水産に関する学科（同じ学校、同じ学科内）
- ・横浜国際高校 国際科 本科と国際バカロレアコース
- ・横浜市立戸塚高校 一般コースと音楽コース
- ・横浜市立横浜商業高校 別科間でも可能

○一般募集の他に、連携募集、特別募集（海外帰国生徒、在県外国人等）などがあります。

検査内容

一般募集は共通選抜で行われます。検査内容について確認しましょう。

共通の検査として学力検査を実施、他に必要に応じて特色検査を実施します。
面接は、必要な高校・学科でのみ実施する特色検査となります。

- ・学力検査（原則5科、クリエイティブスクールを除く）
- ・特色検査（実技検査・自己表現検査・面接のいずれか、高校の特色により設定、実施した場合は学力検査を3科まで減らすことがあります。）

○実技検査の内容

美術・デザイン系の学科：デッサン、体育系の学科：スポーツの実技、
音楽系の学科・コース：楽器の演奏 等

○自己表現検査

与えられたテーマに基づくスピーチによる発表、
指定したテーマについてのグループ討論、
中学校までの学習を教科横断的に活用して設問に対する答えや考えの記述 等

選抜方法

●検査内容をそれぞれ点数化して、2段階で選抜します。

A 調査書の学習の記録 中2・9教科 + (中3・9教科) × 2 = 計135点満点
※ 3教科以内を1.0～2.0倍できる

B 学力検査 各100点 = 計500点満点 (試験時間は各50分)
※ 2教科以内を1.0～2.0倍できる

C 主体的に学習に取り組む態度 (評価)

各教科における第3学年の「主体的に学習に取り組む態度」の評価を

A: 3点, B: 2点, C: 1点とし、合計27点満点

※ 3教科以内を1.0～2.0倍できる

D 特色検査 観点ごとに評価し100点満点に換算する

A～Dをそれぞれ100点満点に換算した数値を (a) ～ (d) とします。

(a) ～ (d) に掛ける比率 (f ～ i) を各高校が定め、掛けた値の合計が高い順に合格とします。第1次選考では調査書点を用いますが、第2次選考は学力検査と「主体的に学習に取り組む態度 (評価)」 (実施した場合は+特色検査) による選考となります。

【第1次選考 (S1)】 募集人員の90%までを選考

$$S1 = (a) \times f + (b) \times g1 [+ (d) \times i1]$$

【第2次選考 (S2)】 残りの募集人員を選考

$$S2 = (b) \times g2 + (c) \times h [+ (d) \times i2]$$

※ f g h はそれぞれ2以上で各選考の合計が10となる整数、i は5以下の整数

- ・志望校が特色検査を実施するのか、f ～ i の割合をいくつで設定しているのかは、早めに確認しておきましょう。

クリエイティブスクール

「クリエイティブスクール」は、一人ひとりが持っている力を必ずしも十分に発揮出来なかった生徒に対しこれまで以上に学習意欲を高める取り組みを行う学校です。

釜利谷、横須賀南、小田原北、大和東、青葉総合が指定されています。

学力検査は実施しません。

面接を実施し、特色検査 (実技または自己表現) を行う場合があります。

調査書の学習の記録は使用せず、観点別学習状況を活用します。